



荒川中だより

村上市立荒川中学校 平成26年度 第6号

平成27年1月20日発行 TEL 0254-62-3251

教育目標「めあてをもって 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

今年度も、「確かな学力の向上」「豊かな心の育成」「健康な体づくり」の3つを柱にして、「生徒が生き生きと輝く学校」を目指していきます。今年の合い言葉「今よりも 一歩前へ」

校長 長谷川 浩志

あけましておめでとうございます

平成27年が始まり、生徒たちが新たな決意をもって学校に戻ってきました。始業式での各学年代表生徒の3学期の抱負をお伝えします。聞いていたときのメモをもとに書きましたので、代表生徒のそのままの言葉でないことをお許しください。

1年生代表 遠山 瑠依 さん

3学期は勉強と部活に頑張りたいと思います。勉強では苦手としている英語に力を入れ、予習復習をしていきたいと思っています。部活動はバスケット部に入っています。バスケット部は、先輩も優しく、先生も楽しいです。3学期はうまくなるように家でも練習をして、2年生が抜けた後に4番をつけたいと思っています。

4月には、先輩になります。先輩になるために気を引き締めていきたいと思っています。

2年生代表 河内 有紗 さん

3学期は勉強に部活動に頑張りたいと思っています。部活動では、すぐに郡市大会となるため、一日も休まず練習していい思い出になるように頑張っています。

また、今修学旅行の学習が始まっています。修学旅行では学年の人たちみんなと仲良くなってきたいです。そのためにも、体調管理に気をつけていきたいと思っています。

3年生代表 光林 良華 さん

3年生は受験です。私は、実力テストで思うような点数がとれなかったため、目標点数を定め2学期は新研究の基礎に取り組んできました。今学期は、応用に取り組み社会・理科の向上と、数学のミスを少なくしていきたいです。

しかしまだ自分に甘さがあり、テレビをみてしまったりしています。少しの時間も無駄にせずもっと時間をうまく使い一日の中で十分な学習時間を確保していきたいと思っています。

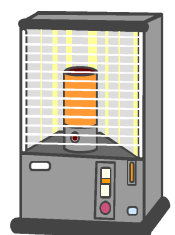
私たち3年生は学校に登校する日はあと41日です。友人とともに中学校時代最後の思い出をたくさんつくってきたいです。

3人とも目標を具体的に語っていて、よい決意でした。目標を達成するための方法を考えて頑張ってくれていると思っています。代表とならなかった生徒たちもそれぞれに決意を新たに新年を迎えたことと思います。

我々教職員一同、3年生の進路希望達成を筆頭に、一人一人の目標達成を全力で支えていくつもりです。本年もご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

始業式の今日、いい場面を見せてもらいました。

今日は、本当に冷え込んだ体育館となり、ストーブをつけて始業式を行いました。体育館に集まってきた生徒の中で7名の生徒が、一切ストーブに寄らずまた途中でおしゃべりなどをすることなく、自分の整列する場所に当然といった表情で並びました。冷え込んだ体育館、ストーブがついていれば少し寄りたいたいと思うのが人情です。しかし今は整列する時間・状況なのだからと自分に打ち勝ち並ぶことができる、こんな心の強いしっかりとした生徒の姿を見て、新年から大変暖かなうれしさを感じました。

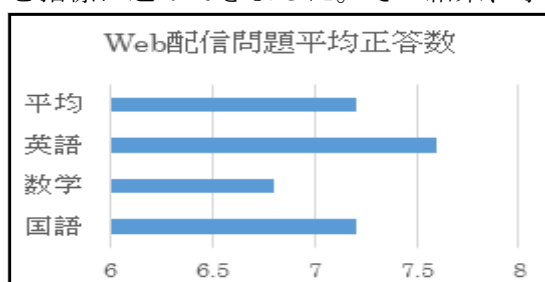


2 学期学校評価研修から

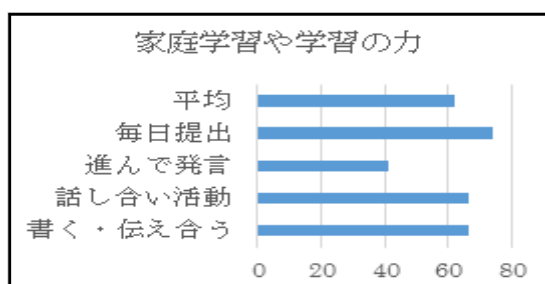
冬休み中の12月25日と1月6日に、2学期末の学校評価アンケートや各種調査を資料に学校の取組や3学期、来年度に向けた話し合いを行いました。

学習指導部（確かな学力の向上）

知識理解面では、Web配信問題の正答数で平均6.8を指標に進めてきました。その結果、学校全



体の平均正答数は7.2で取組の成果が見られました。しかし、学習への積極的取組については、生徒アンケートの下の項目で80%以上の数値を



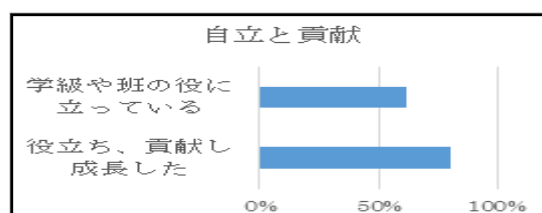
目標に取り組んだのですが、平均62%と達成できていません。

今後は更なる授業改善や指導計画の見直しを進めていこうと考えています。ただ、積極性や学習意欲は、学習指導のみではなかなか高まらないのも事実です。学校生活や家庭生活を見直していくことも重要と考えています。

家庭学習習慣づくりでは、「保護者の方の協力を得ながら提出率の向上を図っていきたい」「自学については、提出だけを考えたただ解答を写したり、漢字や単語の練習ばかりで思考を伴わない学習が目立つ」との意見が出されました。今後自主学習の方法や内容について検討する必要があると考えています。

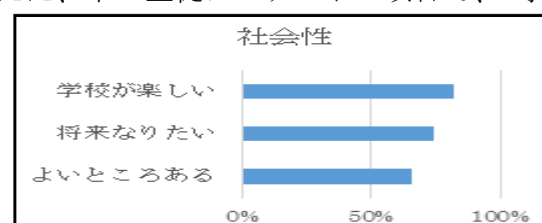
生き方教育部（豊かな心の育成分野）

生徒指導部、特別活動部（行事・生徒会・学級活動など）、進路指導部、道徳・人権教育・同和教育部が目指した指標は、生徒アンケートの「この1年で人の役にたったり、集団に貢献できるよう成長したと思う」の項目で65%以上の生徒が肯定的な評価をすることでした。



結果は、成長したと回答した生徒が80%、自分が学級や班の役に立っていると回答した生徒は62%でした。「成長したけどまだまだ役に立つまではっていない」と考えている生徒が多いといった結果になりました。この結果については、生徒たちが自分の成長を主観的に実感しながらも、客観的に見つめて評価できる生徒が相当数いることは望ましい姿であると捉えています。

ただ、下の生徒アンケートの項目で、「学校が



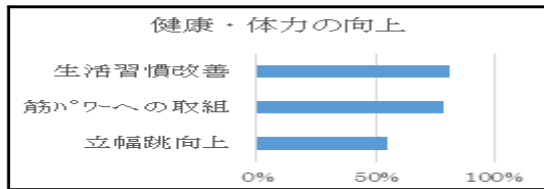
楽しい」が90%に届いていない点や「将来の目標」や「自分によいところがある」という項目が80%を下回っている点、特に自分によいところがあるという自己肯定感が66%と低いことが気になります。

実際、学校生活を見ていると、挨拶や校歌を歌うときの声の大きさ、授業中の発言などで、どことなく遠慮がちで積極性が感じられません。この自己肯定感の低さが、学習面においても主体性や積極性の弱さの原因と考えられます。

今後は、自分の力を発揮できるよう、一人一人の役割を十分に設定し、その役割を他の人たちと協力しながらやり遂げる体験を積み重ねさせていこうと考えています。

健康教育部（健康な体づくり分野）

体力向上部、保健指導部、食育、清掃指導部においては、「健康ランニングの2回の数値で向上した生徒が50%以上」「2回の体力テストの立ち幅跳びの数値が向上した生徒が50%以上」を指標に、「筋パワーを高める運動に意欲的に取り組んだ生徒90%以上」「生活習慣の改善に肯定的な評価をした生徒60%以上」を目指して取り組んできました。その結果、健康ランニングはコース変更のため比較はできませんでしたが、下のグラフのように、体力テストの向上は、計測できた生徒の平均値が55%、筋パワーへの取組向上が79%、生活改善への肯定的評価が81%となりました。



体力テスト、生活改善においては成果が表れ取組としてはよい結果となりました。ただ、筋パワーへの取組が求めていた数値より低かったのが反省としてあげられます。

今後は、体力テストでも全学年を通して「筋力」が県平均値を下回っているため、筋パワーを高める運動とともに、「腕立て伏せ」「腹筋」「背筋」運動など筋力を高める運動を取り入れていこうと考えています。

生活習慣では、学校の取組によって生徒の意識に大きな変化が出たのですが、時間の経過とともに元に戻るといった状況が見られました。生活習慣改善の取組は工夫を加えながら継続していきます。しかし学校だけの取組には限界があります。生き方教育の自己肯定感の向上にもつながりますので、ご家庭でも自分の部屋の掃除や継続した役割（手伝い）、決まった時間での起床・就寝、脱メディアによる時間の有効活用などへのご協力をお願いします。

学校評価を通じて思う

学校評価を通じて、今後荒川中学校の最も大きな課題は、健全な自尊感情・自己肯定感だと考えています。

「健全な自尊感情・自己肯定感」は中学校の最終目標である「自立」（今の言葉を使えば「生き抜く力」）を支える土台となるものです。

健全な自尊感情が高い人は、何事に対しても積極的に取り組み、豊かな体験を積み重ねていく中で、さらに自信がつき、ありのままの自分を受け入れ、他者をも受け入れていくことができるようになります。学校生活においては、学習に積極的に取り組むことで成績が向上し、人間関係においても、自分を大切にすると同時に人への思いやりを持つことができるようになるということになります。

健全な自尊感情・自己肯定感を高めるためには、次の3つの感覚や力を養うことが大切です。

- 所属感や承認欲求が満たされること（包まれ感）
- 人間関係をつくり維持する力（コミュニケーション能力）
- 自己効力感（自分ではできる・がんばれるといった感覚）

一般的にこれらの感覚や力は、社会性と呼ばれ、子どもたちが幼いときから、親や友人、近所の大人など、子どもを取り巻く環境や体験をとおして自然に身に付けていくものでした。しかし、近年の家族や社会の変化、科学技術の急速な発達により、環境や遊びが変化し社会性が身に付きにくくなっています。今の子どもたちは、未熟な社会性のまま、多くのそして複雑な情報が飛び交う、社会団集団の中に投げ出されてい状態です。

知識や経験がなければ判断できません。仮に判断したとしても、実行に移す感覚や力がなければ実行することも成果を得ることもできません。それが自信のなさにつながります。ただでさえ、思春期となり他の評価が気にかかる年代です。自信がない中、何事にも自ら積極的に取り組むことは難しいことだと思います。

ではどうやったら自尊感情、自己肯定感を高めることができるのか、私は次のように考えています。

学校においては、すべての教育活動を通して、

- ① 生徒の育つ力を信じ
- ② 役割を与え他と関わり合わせ、
- ③ 実行する方法を教え、
- ④ 生徒に自ら取り組ませ、
- ⑤ 生徒が自力でやり遂げたといった実感を得られるように指導する。
- ⑥ そして、その実行したことを賞賛し、評価していく。

この指導・支援を生徒の成長に合わせながら繰り返していくこと以外に方法はないと思っています。地味で見栄えの悪い教育活動になりますが、ご理解ご協力をお願いします。

しかし社会性は、前述したように子どもを取り巻くすべての環境が育みます。学校の取組だけでは十分とは言えません。ご家庭においても、

- ① 子どもがもっている力を信じ
- ② 先々の心配をこらえ、すぐに手を出したり貸したりせず、
- ③ 子どもの困り感や要求があっても、アドバイスはしてもすぐに応えないといった待つ姿勢をもち、
- ④ 役割を与え、
- ⑤ 自ら約束を決めさせ（目標です）、
- ⑥ やったことを過程も含めて褒めることで価値付けや達成感を実感させる。そして、
- ⑦ なにより欠点も含め今の君を大切に思っている（愛している＝包まれ感）ことを伝えてくださるようお願いいたします。

このような子育ては、時間がかかりますし、子どもが苦しむ姿を見ることになるかもしれません。しかし、大きな愛に支えられ、自分で考え困難を乗り越える力が育ちます。

家庭と学校が子どものために、一緒に取り組んだときこそ大きな成果が、成長が得られると信じています。一緒に頑張っていきましょう。

書き初め

国語部から新年は何らかの目標を持つにはいい機会であり、その気持ちを書き初めをやることで表し、強めていきたい。まだ目標を持っていない生徒には、文字を書くことで落ち着いた中でスタートをさせたいとの提案があり、久しぶりに新春全校書き初め大会を行いました。生徒たちも気持ちを新たに、真剣に取り組んでおり、大変よい取組となりました。



1年 幸福の年(楷書)
2年 雪月花(行書)
3年 新春門松(行書)

インフルエンザに注意してください

新潟や新潟田で集団発生が報告されています。始業式や保健だよりで注意喚起と指導をしています。3年生の入学試験もあります。集団発生はぜひとも避けたいと思っています。以下の点にご注意いただきご協力お願いいたします。

- ◇ 規則正しい生活とバランスのとれた食事
- ◇ 手洗い、うがい、咳エチケットの励行
- ◇ 乾燥への注意(湿度の管理)
- ◇ 登下校時の防寒着など暖かな服装
- ◇ 熱がある場合は、無理な登校を避ける
- ◇ 必要のない場合は人混みに行かない
- ◇ 対外試合などでの汗の始末や、昼食時の消毒用ハンドペーパー等の活用

頼もしい荒中生

始業式で自分の意思で整列した生徒を紹介しました。このことを生徒に伝えた結果、今はほとんどの生徒が寒い体育館でストーブにあたることなく、学年委員を先頭に整列しています。

少数の人がやっていることでも、その言動に正しさと価値を見出すことで、自分自身の行動をすぐに変えることができます。ここに荒中生の頼もしさを感じます。

こんな生徒たちがつくっていく荒中のこれからワクワクしています

石田裕司先生着任

急な異動で皆様にもご心配をおかけしましたが、青木先生が、中条中学校の社会科の講師に請われ、1月15日(木)をもって荒川中学校を離れ中条中学校に移りました。

その代りとして、先月まで勤務していた石田先生に再度お願いして、教育補助員として当校で指導に当たっていただくことになりました。

学校や生徒のことも知っている方をお願いできて喜んでいます。今後、TTで様々な学級で個別支援を担当してもらいます。よろしく願います。

日	曜	1月・2月はじめの主な予定
19	月	生徒朝会
20	火	
21	水	部活なし あらかわ学習Day
22	木	学年朝会 3年生テスト前学習会
23	金	3年生テスト前学習会 第3回英語検定
24	土	
25	日	
26	月	3年生第4回定期テスト1日目 諸経費引落日
27	火	3年生第4回定期テスト2日目
28	水	第3回メディアコントロールデー スクールカウンセラー来校日 部活なし あらかわ学習Day
29	木	学年朝会 生徒会専門委員会 1、2年生テスト範囲発表
30	金	朝清掃 平成27年度新入生説明会
31	土	
1	日	
2	月	3年生進路保護者会～4日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	1、2年生テスト前部活動停止
7	土	
8	日	
9	月	学力向上テスト(国)、1・2年生テスト前学習会
10	火	学力向上テスト(数・英)、引落日